

令和2年4月30日

保護者、生徒の皆様へ

大阪夕陽丘学園高等学校
校長 片山 豊

創立記念日によせて

若葉の美しい季節となりました。新型コロナウイルスの影響もまだまだ予断を許さない状況で、今後の学校再開の方向性も国・大阪府も決定しかねている状態です。とにかく、今は感染しないように過ごすしかないと考えます。学校再開時には、皆さんの笑顔を見れることを祈っております。

さて、5月1日は本校の創立記念日です。本学園は1939年(昭和14年)に大丸洋裁研究所として堺に創立されました。1942年(昭和17年)からこの夕陽丘の地に移り、世相や時代の推移や社会的要請を受けて、大阪家政学園、大阪女子厚生学園と名称を変更し、1951年(昭和26年)から大阪女子学園となりました。

2005年(平成17年)に大阪夕陽丘学園高等学校と改称し15年目を迎え、元号が平成から令和に変わった昨年は学園創立80周年を迎えました。

創立記念日を迎えるにあたり、私ども教職員は、創立者里見純吉初代校長の開学の趣旨を再確認し、初心に戻りよりよい教育をめざしていきたいと考えております。

入学式告辞(1947年) 出典 里見純吉 講話集より

1. 教育に関与する者の仕事は、農夫が培い水を注いで作物を成長させるが如く、若い生命を育てることである。
2. 学園に來たり学ぶ者は知識技能より、良き人間となることを心掛けねばならない。
そのため「愛と眞実」を本学園教育の基本理念とする。

「愛」とは好き嫌いを越えた人の喜びを我が喜びとする大きな愛
「眞実」とは人を偽らず正しい心と勇氣を持って行動する姿勢

これは、人間の生き行く最高の理念であり、この精神に満ちた人間の育成を本学園の使命とする。